

人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会 「道路・橋梁の維持管理」作業部会 状況報告

平成27年10月29日

1 これまでの活動実績について

(1) 平成25年度（3回開催）

○課題の抽出と対策のプランニング

- ・各自治体が維持管理について抱える課題を「人」「金」「技術」に分類
- ・分類課題ごとに対策案を検討し、各市町村が採用したい対策案を抽出

(2) 平成26年度（2回開催）

○対策の実施と検証

- ・前年度のプランニングに従い、対策案を実施し成果や課題について検討

○対策のブラッシュアップ

- ・課題解決に有効と思われるテーマを絞り込み、先進事例等を紹介しながら意見交換を行い、さらに掘り下げた検討を実施
(実施テーマ) 除雪業務等の複数年契約、退職者の再任用、市民等との協働

2 本年度の活動計画について

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための「公共施設等総合管理計画」の策定状況を踏まえ、単独の自治体だけでは解決が困難なインフラマネジメントについての研究を実施

(1) 第1回（H27.12開催予定）

○管理施設の長寿命化の有無に関する仕分け

(研究内容) 安全性を確保しながら維持管理レベルを低減させることでコスト削減を図る手法を研究（対象：15m未満の橋梁）

(研究手法) 他県の事例や、既往の研究成果等を用いて県の技術アドバイザーを講師に招き勉強会を実施

(2) 第2回（H28.3開催予定）

○管理施設の廃止・集約化に関する研究

(研究内容) 橋梁の供用廃止・集約化に対する各自治体の基本的な考え方の把握と、実施可能性の研究

(研究手法) 市町村アンケートに基づく意見交換（廃止・集約化の考え方）

- ・他自治体の取り組み、成功事例の研究（成功パターンの類型化）

- ・成功事例等を踏まえた各自治体への適用可能性の検討（実施可能箇所の検討）

3 次年度の検討方針について

- 施設の長寿命化の有無に関する仕分けについて、さらなる研究を進めるための対応方針を検討

- 施設の廃止・集約について、ケーススタディを実施